

那須塩原市上下水道事業審議会 答申結果

開催日時: 令和8(2026)年5月26日(火) 14:00~14:30

場 所: 那須塩原市役所本庁舎303会議室

参加委員: 太田正会長

那須塩原市: 渡辺美知太郎市長

事務局: 9名

《 内 容 》

1 開会

2 答申

委員を代表し、太田会長から市長へ答申を行いました。

- ・答申書の朗読・提出
- ・会長あいさつ

【概要】

昨年10月の諮問以降、5回にわたり真摯に審議を進めてきた。現在、上下水道事業は施設の老朽化や人口減少、物価高騰等により極めて厳しい経営環境にある。こうした状況下で持続可能な事業運営を行うため、改定率を水道料金は19.2%、下水道使用料は11.5%とし、令和9年4月から実施することが適当であると判断した。市民生活への影響も配慮したが、将来世代へ負担を先送りする安易な軽減策はとらない苦渋の決断に至った。市においては広報や出前講座等を活用し、市民へ分かりやすく丁寧な説明を行うことを強く要望する。本答申を重く受け止め、持続可能な事業運営を進めることを求める。

3 市長あいさつ

答申を受け、市長からあいさつがありました。

【概要】

太田会長をはじめ委員の皆様の約8か月にわたる真摯なご審議に深く感謝する。全国的にインフラの老朽化が課題となり、各地で不具合が生じている中、市民生活に欠かせない上下水道についての重みのある答申をしっかりと受け止める。料金改定は代表として非常に責任を伴うが、将来にツケを回さず、今ここでしっかりと整備を行わなければ、将来の市民生活に大きな支障をきたすと考えている。そのため、答申に従い着実に実行していく。また、附帯意見としていただいた市民への丁寧な説明についても誠意を持って対応する。本答申を尊重し、9月の市議会定例会議に条例の改正議案を上程していく方針である。

4 閉会



答申書の提出（左：渡辺市長、右：太田会長）